

平成31年度
九州地方 ESD 活動支援センター
年次報告書

特定非営利活動法人 宮崎文化本舗
一般社団法人 九州環境地域づくり

もくじ

①	企画運営委員会の開催	3
②	九州 ESD センターの発信	5
③	地域 ESD 活動情報の重点的な把握と相談対応強化.....	5
④	地域 ESD 推進拠点の登録呼びかけ	8
⑤	ESD 活動ネットワークの形成.....	9
⑥	全国 ESD 活動支援センター等との連携	12

本報告書は、平成31年4月～令和2年3月（4月1日から3月31日）の九州地方ESD活動支援センター（以下、九州ESDセンター）の運營業務内容について報告するものである。

平成31年度の目標

中期ロードマップをふまえ、設置3年目となる九州ESDセンターでは、2カ年の実績ならびに評価委員会での指摘事項等をもとに目標設定を行い成果取りまとめに向けた運営を行う。

平成31年度 運営目標

- ・九州ESDセンターの認知を関係主体とともに高め、地域ぐるみでのESDネットワークを推進する。

成果目標


- ・積極的な働きかけにより、多分野に九州ESDセンターが認知される。
- ・地域における多様な取組がESDの視点から発信される。
- ・地域ESD拠点の登録が促進され、取組が発信される。

① 企画運営委員会の開催


九州ESDセンター企画運営委員会を、EPO九州運営委員会の分科会と位置づけ、EPO九州の運営基盤にもとづいた取り組みを展開する。また、企画運営委員と連携し、地域ESD推進拠点の登録促進に取り組みとともに、支援・活動等に関するニーズ等を把握する。

【平成31年度 企画運営委員】

	分野	県	氏名	所属
1	ESD実践団体	福岡県	眞鍋 和博	北九州ESD協議会 運営委員長
2	ESD実践団体	鹿児島県	浜本 奈鼓	NPO法人くすの木自然館 代表理事
3	企業	熊本県	大野 芳範	公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金 常務理事
4	教育関係者	福岡県	安田 昌則	大牟田市教育委員会 教育長
5	学識経験者	福岡県	石丸 哲史	福岡教育大学社会科教育講座 教授
6	学識経験者	沖縄県	大島 順子	琉球大学観光産業科学部 准教授
7	地方自治体	佐賀県	寺山 靖久	鹿島市建設・環境部 部長

行事名	平成 31 年度第 1 回九州 ESD センター企画運営委員会
開催日等	日 時：令和元年 6 月 4 日（火） 15 時 15 分～17 時 30 分 会 場：みやざき NPO・協働支援センター（宮崎市） 出席者：20 名 主 催：九州 ESD センター
目 的	平成 30 年度のセンター運営状況の報告、平成 31 年度センター運営計画の協議・助言、および個別事業に対する連携内容を検討する。
概 要	<次第> 1. 開会 2. 平成 30 年度センター運営状況について 3. 平成 31 年度センター運営計画、個別事業について 4. その他
成 果	今年度の ESD センター運営方針について、3 か年の成果取りまとめを意識しながら、ネットワーク形成を進めていく方向性について合意された。 特に、地域 ESD 拠点との連携については効果的な場づくりへの期待が示された。
検討事項等	地域 ESD 拠点登録について、着実な呼びかけをとおして各県 1 以上の登録を目指すことが確認され、多様な分野の登録促進に努めることが指摘された。
写 真	

行事名	平成 31 年度第 2 回九州 ESD センター企画運営委員会
開催日等	日 時：令和 2 年 1 月 7 日（火） 13 時 30 分～15 時 00 分 会 場：熊本城ホール 中会議室 C（熊本市） 出席者：24 名 主 催：九州 ESD センター
目 的	平成 31 年度、並びに第四期全体の運営実施状況や個別事業について報告するとともに、次年度運営指針について助言をいただく。
概 要	<次第> 1. 開会 2. 出席者紹介 3. 平成 31 年度運営状況について 4. その他
成 果	SDGs 未来都市など、全域的に SDGs に関する取組が拡大する一方、担い手育成、人材育成についての課題も表面化しており、引き続き九州 ESD センターがコミットすべき状況にあることが共有された。

	これまで九州センターが取り組んできた重層的なネットワークづくりについて評価され、ユース世代を対象とした SDGs 啓発活動にも継続して取り組む方向性について提案がなされた。
検討事項等	各委員からは、前年度評価委員会の指摘事項を基に取組んだ SDGs の発信強化において、基礎的な発信強化に取り組むだけでなく、地域循環共生圏の取組についても併せて周知すべきという議論があった。 また、SDGs と ESD を結び付けた浸透をはかるべきという提案がなされた。
写 真	

② 九州 ESD センターの発信

企画運営委員ならびに地域 ESD 拠点と連携し、ESD 活動に関する情報の収集と発信を行う。関係機関等が行う企画等について共催、後援等を働きかけを行い、積極的な周知に務めた。

九州 ESD センターホームページ投稿件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
11	17	10	3	2	3
10月	11月	12月	1月	2月	3月
3	4	4	6	5	9

EPO九州と共同配信するメールマガジン掲載記事について、地域 ESD 拠点担当者に情報照会し、イベントや取組について記事提供いただいた。

地域 ESD 拠点がが増えていく中で、多様な情報源としてすそ野が広がった。

③ 地域 ESD 活動情報の重点的な把握と相談対応強化

九州 ESD センターの活動基盤となる、ESD 活動の情報把握について、企画運営委員、地域 ESD 拠点等と連携し、重点的な情報収集に努める。

■相談案件

相談案件	対応・連携等
公立小学校 ESD 展開について	4月5日来所。 校内の ESD の取組み拡大の手法について相談。

公立中学校教諭 ESD 展開について	4 月 9 日来所。 キャリア教育と ESD を関連付けた展開について相談。
教育大学ヒアリング	4 月 27 日来所。 大牟田市を中心とした九州地域の ESD の状況について情報交換。
公立中学校 ESD 展開について	5 月 31 日来所。 ESD の研究指定に伴う相談。
公立中学校 活動発表の場作りについて	ESD 研究指定校としての取り組みを外部発信する手段について相談。 8 月に開催する大牟田市での ESD 実践交流会を提案し、主催の大牟田市教育委員会との調整を行った。
教育大学	ESD 関連学生の九州 ESD センター受け入れについて

■情報収集

■熊本の教育を世界に発信！～シュライヒャー局長と共に考える Education2030～

日時：令和元年9月6日（金）

場所：熊本学園大学（熊本市）

主催：熊本市教育委員会

熊本市教育委員会主催の教育シンポジウムに出席し、情報収集を行った。

OECD（経済協力開発機構）シュライヒャー局長による講演の他、「OECD Education 2030」をベースに新時代の教育をテーマとしたシンポジウムと児童生徒による学習発表が行われた。ESD 研究指定校である熊本市立北部中学校からも登壇があった。



■第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会

会期：令和元年10月31日（木）～11月5日（火）

会場：姫島・大分市・豊後大野市等

主催：第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会実行委員会

後援：九州地方 ESD 活動支援センター他

大会に出席するとともに、ESD センターの取組とジオパークネットワークに関する口頭発表を行った（大会3日目、豊後大野市）。地域の地質・地形的資源を活かした持続可能な地域づくりについて取組む九州各地のジオパーク関係団体とのネットワークづくりとして、地域 ESD 拠点を紹介するとともに、ESD 推進ネットワークに向けた連携可能性について情報提供を行った。



■2019年九州ブロックユネスコ活動研究会 in 福岡

会期：令和2年11月9日（土）、10日（日）

会場：ホテル マリターレ創世（福岡県久留米市）

主催：久留米ユネスコ協会・公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

〈会期中10日のみ参加〉

日本ユネスコ協会によるブロック研究会に出席した。

福岡県文化振興課による世界遺産とユネスコを主題とした基調講演や、協力した久留米大学から国際的な学術研究、及び学生へのSDGs教育について発表がなされた。

また隣接する大牟田市から教育委員会指導主事が登壇し、強力なESD推進の体制について活動紹介が行われた。最後に日本ユネスコ国内委員会から委員が登壇し、委員会報告が行われた。

九州ブロックでの研修会であったことから、九州各県からユネスコ並びに教育関係者が集い、九州センターからセンターの役割とネットワーク、地域ESD推進拠点の周知を行った。



■熊本市立北部中学校+校区内小学校 ESD研究発表会

期日：令和元年10月18日（金）

会場：熊本市立北部中学校（熊本市北区鹿子木町）

1. 全体会
2. 中学校授業・小学校紙面発表
3. ブース発表（中学校・小学校）
4. 指導講話

ESD推進に関する指定校として2カ年にわたって研究を行ってきた熊本市立北部中学校を主体とする研究発表会が開催され、あわせて熊本市の指定を受けた管内の小学校と合同で小中連携でのESD・SDGs推進に関する取り組みが発表された。

中学校では、キャリア教育と組合せ、地域の資源や課題を掘り下げながら地域の様々な主体と関りを広げていく取組などが紹介された。

また、同日に熊本市立北部小学校で開催された研究発表会・公開授業では、国際理解をテーマに、オーストラリアの小学校とのオンライン授業の取組が披露され、外国語教師と連携した地域学習の様子が紹介された。



北部中学での研究発表会

④ 地域 ESD 推進拠点の登録呼びかけ

ESD 推進ネットワークの構築にあたって、地域における ESD 活動を支援する拠点について、地域 ESD 推進拠点として引き続き登録を呼びかける。

■地域 ESD 推進拠点（令和 2 年 3 月末日時点）

	拠点	分野	県
1	鹿島市建設環境部 ラムサール条約推進室	地方自治体	佐賀県
2	国立大学法人 福岡教育大学	大学	福岡県
3	大牟田市教育委員会	教育委員会	福岡県
4	公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金	支援基金	熊本県
5	北九州 ESD 協議会	ESD 実践団体	福岡県
6	一般社団法人 環不知火プランニング	ESD 実践団体	熊本県
7	認定 NPO 法人 地球市民の会	ESD 実践団体	佐賀県
8	公益財団法人再春館一本の木財団	支援基金	熊本県
9	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会	ESD 実践団体	沖縄県
10	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立諫早青少年自然の家	国立青少年施設	長崎県
11	NPO 法人おおいた環境保全フォーラム 附属はざこネイチャーセンター	ESD 実践団体	大分県
12	NGO 福岡ネットワーク	ESD 実践団体	福岡県
13	九州大学 水素エネルギー国際研究センター	大学	福岡県
14	宮崎県環境情報センター	公設情報センター	宮崎県
15	NPO 法人 おきなわ環境クラブ (OEC)	ESD 実践団体	沖縄県
16	NPO 法人 くすの木自然館	ESD 実践団体	鹿児島県
17	そらのまちほいくえん	子育て	鹿児島県

太字が今年度登録された拠点。

■平成 31 年度登録呼びかけ計画・実績


拠点登録説明状況	対応・連携等
宮崎県環境情報センター (宮崎県森林環境課)	宮崎県内での環境教育の発信拠点として提案。所管である宮崎県森林環境部へ登録検討を打診中である。 第二四半期に登録の見込み。
大分県うつくし作戦推進課	大分県内のE S D推進団体等への呼びかけについて意見交換を行った。企業の取組む体験活動拠点について情報提供をいただいた。
NPO 法人くすの木自然館	鹿児島県内からの登録として運営委員でもある浜本代表を通じ継続的に提案を行い、鹿児島県から初の登録に繋がった。
宮崎県環境科学協会	宮崎県内で企業や市民に環境に関する情報を提供している。実施する総会にてEPO九州についての情報提供。
そらのまちほいくえん	第3回 SDGs アワード受賞団体。左記団体のJETRO SDGs セミナー登壇の際にコンタクトし、案内を行った。

⑤ ESD 活動ネットワークの形成

地域・主体間のネットワーク形成に向けた活動情報の共有ならびに交流を図る場を次のとおり設ける。

1. 地域 ESD 学び合いフォーラムの開催

行事名	地域 ESD 学び合いフォーラム
開催日等	日 時：令和元年 8 月 22 日（木）13 時 30 分～15 時（予定） 会 場：ホテルニューガイア オームタガーデン（大牟田市） 対 象：教育関係者、環境教育や ESD の実践者など 主 催：九州地方 ESD 活動支援センター 協 力：大牟田市教育委員会
目 的	九州・沖縄各県の地域 ESD 拠点による活動紹介や意見交換をとおして、持続可能な地域づくりを担う活動推進や、拠点間のネットワーク促進を支援する。
活動紹介候補	【活動紹介】 国立諫早青少年自然の家 / 公益財団法人再春館一本の木財団 一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 【助言者】 福岡教育大学 ESD 受講学生 / 認定NPO法人地球市民の会

打合せ等	<p><企画打合せ> 日 時：平成 31 年 4 月 23 日（火） 場 所：大牟田市教育委員会 出席者：4名 内 容：今年度の実践交流会について ESD センターとの共催を含む企画概要、分科会での連携について打合せを行った。</p>
概要	<p><次第> 1. 九州地方 ESD 活動支援センターの取り組み 2. 地域 ESD 拠点による活動紹介 3. 意見交換・質疑応答 4. 学生・専門家による指導助言</p>
成果	<p>持続可能な地域づくりを推進する地域 ESD 拠点の取組みを発信し、経験交流、そして意見交換を行うことを目的として開催した。</p> <p>「国立諫早青少年自然の家」「公益財団法人再春館一本の木財団」「一般財団法人沖縄県公衆衛生協会」の 3 団体による課題意識や解決への実践について活動紹介、ESD の有識者である「福岡教育大学」の ESD 受講学生と、「認定 NPO 法人地球市民の会」による助言、意見交換を行った。</p> <p>本フォーラムは大牟田市教育委員会による ESD 全国実践交流会の分科会として開催され、大牟田市内外の多数の教育関係者も聴講、ESD についての相互参照の場となった。</p>
写真	


2. ユネスコスクール教育委員会支援サミットとの連携（後援）

行事名	ユネスコスクール・SDGs/ESD 教育委員会サミット
開催日等	<p>日 時：平成 31 年 8 月 21 日（水） 会 場：ホテルニューガイア オームタガーデン（大牟田市） 対 象：教育関係者、環境教育や ESD の実践者など 主 催：大牟田市教育委員会 共 催：日本ユネスコ国内委員会・ESD 活動支援センター 九州地方 ESD 活動支援センター</p>
目 的	大牟田市教育委員会と連携し、ユネスコスクールの支援に取り組む教育委員会や専門家のネットワークづくりを行う。また、連携をとおして、九州 ESD センターの相談対応力を高める。

打合せ等	<p><企画打合せ> 日 時：平成31年4月23日（火） 場 所：大牟田市教育委員会 出席者：4名 内 容：今年度のサミットについて、文科省によるESD推進事業による事業設計をふまえ、ESDセンターの名義後援を含む企画概要・連携について打合せを行った。</p>
成果 検討事項	<p>大牟田市教育委員会主催による教育関係者サミットの共催を行った。 全国各地でSDGs/ESDの推進に取り組む13地域の教育委員会が集い、取組の課題と現状について協議が行われた。 各自治体におけるSDGsの達成にESDが不可欠である点が強調され、教育委員会が果たす役割について、登壇者から様々な事例が紹介された。 共催、参加をとおして各教育委員会とのネットワークを結び、今後の九州センターの事業展開を強化する連携体制を構築した。</p>
写真	

3. 沖縄地域 ESD 交流会の開催

行事名	竹富町・西表 SDGs・ESD 意見交換会
開催日等	日 時 令和2年3月25日（水） 会 場 竹富町立上原小学校 ランチルーム 対 象 上原小学校関係者、環境教育やESDの地域実践者など 主 催：九州地方ESD活動支援センター
目 的	<p>沖縄地域のESDネットワーク推進に向け、世界自然遺産推薦候補地となる西表島において、地域のESD推進関係者のネットワーク構築を目的とした意見交換会を開催する。SDGsの考え方や学校でのESD推進をテーマに、担い手育成地域ネットワークなど実践者による情報交換と、経験交流の加速を目的とする。</p>
打合せ等	<p><企画打合せ> 日 時：平成31年7月18日（木） 場 所：西表自然保護官事務所 出席者：5名 内 容：年度内の意見交換会実施に向け、島内のESD関係者の連携の可能性を踏まえた場づくりの検討を行った。出席者からは保護官事務所の取組周知や、島内のSDGs普及啓発についての提案が行われた。</p>
概要	日 時：令和2年3月25日（水） 13:00～15:00 会 場：竹富町立上原小学校 ランチルーム 参加者：上原小学校関係者及び竹富町各学校関係者21名

登壇者	<p>【講演】 琉球大学国際地域創造学部 大島 順子准教授</p> <p>【活動紹介】 西表自然保護官事務所/竹富町立上原小学校 沖縄県教育庁 生涯学習振興課/九州地方 ESD 活動支援センター</p>
成果	<p>九州地方 ESD 活動支援センターから、本意見交換会の趣旨を説明すると共に、全国の ESD 支援ネットワークおよび地域 ESD 推進拠点の登録制度について情報提供を行った。</p> <p>会場である上原小学校教職員からのニーズに合わせ、SDGs の潮流の中で ESD が果たす役割について有識者からの講演を行った。また、島内の環境保全の担い手育成において、国立公園の自然保護官事務所が持つ機能について保護官から紹介をいただいた。そして、学校への ESD 研究指定など沖縄県が進める取組について SDGs を関連させ教育委員会職員から情報提供をいただいた。</p> <p>また、地域資源の教育への活用や、ESD 推進において島嶼地域が持つ利点について参加者間で活発な意見交換を行った。</p>
写真	

⑥ 全国 ESD 活動支援センター等との連携

行事名	令和元年度第 1 回 ESD 活動支援センター連絡会
開催日等	<p>日 時：令和元年 5 月 16 日（木）</p> <p>会 場：GEOC セミナースペース（東京都渋谷区）</p> <p>出席者：20 名</p> <p>主 催：ESD 活動支援センター</p>
目 的	ESD センター（全国・地方）の運営状況と運営計画の共有、および地域 ESD 拠点のメリット強化、全国的な ESD 推進団体との連携等について協議を行った。
概 要	<p><次第></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 地方センターの運営体制について 3. 地域 ESD 拠点の「メリット強化」について 4. 全国的な ESD 推進団体との連携について

成果 ・ 検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地方センターの運営体制について、意見交換を行い、外部に説明する際は、EPOとESDセンターの関係を丁寧に説明することで合意した。 ・地域ESD拠点の「メリット強化」について意見交換を行い、拠点間の情報共有を促進するためのメーリングリストの作成、および環境省・文科省からの文書発出等について、検討を進めることとなった。 ・全国的なESD推進団体との連携について、(独行)青少年教育振興機構とJICA担当者より、ESDに係る取組紹介が行われるとともに、今後は地方ごとに個別に連携に向けた取組を進めるという方向性が示された。
-----------------	--

行事名	令和元年度第2回ESD活動支援センター連絡会
開催日等	日 時：令和2年1月15日(水) 会 場：GEOC セミナースペース(東京都渋谷区) 出席者：33名 主 催：ESD活動支援センター
目的	ESDセンター(全国・地方)の運営状況と運営計画の共有、および地域ESD拠点のメリット強化、全国的なESD推進団体との連携等について協議を行った。
概要	<次第> 1. 開会 2. ESD活動支援センター(全国・地方)活動状況 3. ESD実施計画をめぐる国際動向・国内動向 4. ESD推進ネットワークの現状と課題について 5. その他
成果 ・ 検討事項	各議題において、SDGsや地域循環共生圏の推進において、ESDの果たす役割や目指す社会像の整理が必要である点が議論された。 担い手の認識を変容させ、SDGs時代の人材育成を果たすため、企業や行政、金融といった分野横断の手法について意見交換が行われた。気候変動など差し迫った課題に、ESDの視点からどう広げ深めるかについて共有された。 また各地で広がる地域ESD推進拠点のネットワーク活用について、目的に応じた拠点のマッチングや、ネットワークの受益者をどのように想定するかについて議論が行われた。

九州地方 ESD 活動支援センターの後援・共催行事について

1. 後援

開催日	行事名	県	会場	主催
7月23日	地域創生×SDGs セミナー： 地域の取組が世界を変える	鹿児島 県	TKP ガーデンシテ ィ鹿児島中央	独立行政法人国 際協力機構
8月21日	ユネスコスクール・ SDGs/ESD 教育委員会サミ ット	福岡県	ホテルニューガイア オームタガーデン	大牟田市教育委 員会
7月29日 7月30日	2019年度マスターティーチ ャープログラム沖縄会場	沖縄県	沖縄県南部合同庁 舎生涯学習推進セ ンター	奈良教育大学
8月10日 8月11日	2019年度マスターティーチ ャープログラム福岡会場	福岡県	福岡市立中央市民 センター	奈良教育大学
10月31日	日本ジオパーク全国大会 2019 おおいた	大分県	iichiko 総合文化セ ンター等	第10回日本ジ オパーク全国大 会2019 おおい た大会実行委員 会
11月12日	地域創生×SDGs セミナー： 地域の取組みが世界を変える ～「産官学民」のSDGs 取組 事例を中心に～	佐賀県	TKP 佐賀商工ビル	ジェトロ佐賀 ジェトロアジア 研究所 佐賀銀行 JICA 九州
1月11日	令和元年度おおむた・みら い・ESD 推進事業「ユネスコ スクール・ESD のまち おお むた」宣言記念式典 大牟田市「ユネスコスク ール・ESD/SDGs 子どもサミ ット」	福岡県	大牟田文化会館	大牟田市教育委 員会
3月14日	SDGsDesign International Awards2019	福岡県	九州大学大橋キャ パス	国立大学法人九 州大学 大学院 芸術工学研究院 九州大学未来デ ザイン学センタ ー

2. 共催

開催日	行事名	県	会場	主催
8月22日	ユネスコスクール・ESD 全国 実践交流会 in 大牟田	福岡県	ホテルニューガイア オームタガーデン	大牟田市教育委 員会
2月16日	福岡教育大学 ESD セミナー	福岡県	福津市立図書館	福岡教育大学

リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。